

◀1995年 神戸大学(前期)▶

♠ 理系学部

1 $-\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{2}{3}\pi$ を満たす実数 θ に対して, 行列 $\begin{pmatrix} \cos\theta & \sin\theta \\ \sin\theta & -\cos\theta \end{pmatrix}$ による 1 次変換が点 $P(1, \sqrt{3})$ を点 Q に移すものとする. このとき, 次の各問に答えよ.

- (1) 三角形 OPQ の面積 $S(\theta)$ を求めよ. ただし, O は原点である.
- (2) $S(\theta)$ を最大にするような θ を求めよ.

2 四面体 $OABC$ があり, $\angle AOB = \angle AOC = 90^\circ$, $\angle BOC = 60^\circ$, 辺 OA, OB, OC の長さはそれぞれ $a, a, 2$ である. このとき, 点 O から三角形 ABC を含む平面に下ろした垂線とその平面の交点を P とするとき, P が三角形 ABC の内部(辺上を含む)にあるための a の条件を求めよ.

3 数列 $\{x_n\}$ が

$$x_{n+3} = x_n + x_{n+1} + x_{n+2} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たすとき, 数列 $\{x_n\}$ は性質 (F) を持つということにする. このとき, 次の各問に答えよ.

- (1) 数列 $\{u_n\}, \{v_n\}$ がともに性質 (F) を持つならば, α, β を実数とするとき数列 $\{\alpha u_n + \beta v_n\}$ は性質 (F) を持つことを示せ.
- (2) 数列 $\{a_n\}, \{b_n\}, \{c_n\}$ は性質 (F) を持ち, 数列 $\{a_n\}$ の初めの 3 項は順に $1, 0, 0$, 数列 $\{b_n\}$ の初めの 3 項は順に $0, 1, 0$, 数列 $\{c_n\}$ の初めの 3 項は順に $0, 0, 1$ である. このとき, 性質 (F) を持つ数列 $\{y_n\}$ は, ある実数 α, β, γ を選んで, $\{aa_n + \beta b_n + \gamma c_n\}$ と表すことができることを示せ.
- (3) 数列 $\{d_n\}, \{e_n\}, \{f_n\}$ は性質 (F) を持ち, 数列 $\{d_n\}$ の初めの 3 項は順に $0, 1, 1$, 数列 $\{e_n\}$ の初めの 3 項は順に $1, 1, 0$, 数列 $\{f_n\}$ の初めの 3 項は順に $1, 0, -1$ である. このとき, 性質 (F) を持ち, 初めの 3 項が $1, 1, 1$ である数列 $\{h_n\}$ は, どのように実数 α, β, γ を選んでも, $\{ad_n + \beta e_n + \gamma f_n\}$ と表すことができないことを示せ.

4 次の各問に答えよ.

- (1) t の関数 y で $\frac{d}{dt}(e^t y) = \cos t$ を満たすものを求めよ.
- (2) xy 平面上を運動する 2 つの点 P と Q がある. 時刻 t における点 P の位置は $(-1, e^{-t} \cos t)$ である. また時刻 t における点 Q の速度ベクトルは \overrightarrow{QP} に等しく, $t = 0$ のときの点 Q の位置は $(1, 0)$ である. このとき, 次の各問に答えよ.
 - (i) 時刻 t における点 Q の位置を求めよ.
 - (ii) $t \geq 0$ のとき, 点 Q の y 座標が最大となる時刻と, そのときの点 Q の位置を求めよ.

5 箱の中に 1 から n までの整数が 1 つずつ書いてある n 枚のカードが入っている. この箱から 1 枚のカードを取り出し, その数を読んで, もとに戻してよくかき混ぜる. この試行を 3 回繰り返したとき, 取り出したカードに書かれている数の最大値と, 3 つの数の和を考える. 最大値が 7 であったときに, 和が 15 である確率を求めよ.

♠ 文系学部

1 理系学部 **1** と同じ.

2 放物線 $y = x^2$ 上に異なる2点 $A(a, a^2)$, $B(b, b^2)$ ($a > 0, b < 0$) をとり, A, B における接線をそれぞれ l, m とする. このとき, 次の各問に答えよ.

(1) この放物線と2接線 l, m によって囲まれた部分の面積を S とするとき, S を a と b の式で表せ.

(2) 直線 l を原点の周りに 45° 回転して得られる直線を l' とするとき, l' の方程式を求めよ.

(3) 接線 m が直線 l' と平行であるとき, 面積 S を a のみの式で表せ. また, a の動く範囲が $a > \frac{1}{2}$ のとき, S の最小値とそのときの a の値を求めよ.

3 自然数 n について,

$$T_n = 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{2n-1} - \frac{1}{2n}$$

とする. このとき, 次の各問に答えよ.

(1) $n \geq 2$ ならば, 不等式 $\frac{7}{12} \leq T_n$ が成り立つことを示せ.

(2) 等式 $T_n = \frac{1}{n+1} + \frac{1}{n+2} + \cdots + \frac{1}{2n}$ が成り立つことを示せ.

(3) 不等式 $T_n \leq \frac{n}{n+1}$ が成り立つことを示せ.

出題範囲と難易度

♣ 理系学部

- 1** 基本 代幾 行列・1次変換
- 2** 標準 代幾 ベクトル
- 3** 標準 基解 数列
- 4** 難 微積 積分法の応用・微分方程式
- 5** 基本 確統 確率

♣ 文系学部

- 1** 基本 代幾 行列・1次変換
- 2** 標準 基解 微分積分・代幾 行列・1次変換
- 3** 標準 基解 数列

略解

◇ 理系学部

1 (1) $S(\theta) = 2 \sin\left(\theta + \frac{\pi}{3}\right)$ ($S(\theta) = 2 \sin\left(\frac{2}{3}\pi - \theta\right)$ でも可)

(2) $\theta = \frac{\pi}{6}$

2 $1 \leq a \leq 4$

3 (1) 証明は省略

(2) 証明は省略

(3) 証明は省略

4 (1) $y = e^{-t} \sin t + Ce^{-t}$ (C は任意定数)

(2) (i) $Q(2e^{-t} - 1, e^{-t} \sin t)$

(ii) $Q\left(2e^{-\frac{\pi}{4}} - 1, \frac{1}{\sqrt{2}}e^{-\frac{\pi}{4}}\right)$

5 $\frac{18}{127}$

◇ 文系学部

1 理系学部 **1** と同じ.

2 (1) $S = \frac{1}{12}(a-b)^3$

(2) $(2a+1)x + (2a-1)y - \sqrt{2}a^2 = 0$

(3) $S = \frac{1}{96} \left(\frac{4a^2+1}{2a-1} \right)^3$

最小値: $\frac{7+5\sqrt{2}}{12}$ ($a = \frac{\sqrt{2}+1}{2}$)

3 (1) 証明は省略

(2) 証明は省略

(3) 証明は省略